

作新学院高等学校

地球環境クラブ



eco(チームテレサ)



eco(チームガリレオ)



eco(コロンブス)

高校生ボランティア・アワード2022

「人を想い、人のために行動することで豊かな未来をつくる」

活動概要

誰かだけでなくわたし達がやる。学生ができる社会貢献を目指し、それぞれ3つのチームに分かれ日々活動をしています。

チームテレサ

ボランティア系のチーム 自分たちの周りの環境を自分たちで心血を注いで守っていきます。

【主な活動】 被災地・復興地支援(宮城県)、広島県呉市の小中学校、愛媛県宇和島市のミカンの農業の方々との交流、災害発生時の募金活動・寄付を募った物資やメッセージ、ウクライナ支援、ペットボトルのキャップ回収

チームガリレオ

技術開発系のチーム 授業などの学校生活を通じて学んだ知識や技術を応用して社会貢献をしていきます。

【主な活動】 エコ発電プロジェクト、再生可能エネルギーについて研究、鉱山廃水クリーンプロジェクト、人体に有害な鉱山廃水の処理技術について研究、雨水のエネルギーを利用した水力発電の研究※現在進行中

チームコロンブス

国際交流系チーム チームテレサ、コロンブスで得た経験を基に、国際理解を通して、社会貢献や地球環境に寄与する活動を行なっています。

【主な活動】 フェアトレード活動(学校祭では、フェアトレードの商品を販売するブースを設置)、アフリカ1万足プロジェクト、eco活動と国際貢献を実現



「オール作新」

「誰かのために役に立つ」ことをテーマに、幼稚園・小学部・中等部・高等学校の垣根を超えて、みんなで考え、行動しようと思われ、学院の持つ多様な個性とアイデアを結集し、「オール作新」で積極的な活動を行っています。

【思い出のランドセルギフトプロジェクト】

2018年度から取り組んでいるこの活動は役目を終えたランドセルを学びたくても学べないアフガニスタンの子どもたちに送り、子どもたちの就学に立てる国際支援活動です。現在300個を超えるランドセルを集めることができました。

【フェアトレードワークショップ】

昨年、作新学院チームテレサにて東北大学フェアトレード推奨サークル「amo」様とワークショップを行いました。

【ひまわりプロジェクト】

東日本大震災が起こった年の2011年から東北の方々との交流をしています。ひまわりの種を作新学院の幼稚園生、小学部、中等部、高等部の生徒で蒔き、苗になるまで大事に育てて、苗になったら東日本大震災の被災地であった宮城県名取市に送ります。このプロジェクトでは名取市でひまわりが花を咲かせ、震災にあった方々に元気と笑顔を届けてくれることを願って行われています。

作新学院から被災地の皆さまへここからのエールを

東日本大震災から11年、作新学院ではさまざまな形で被災地・復興地への皆様の応援、交流を続けさせていただいています。

3月には応援メッセージを作成し、幼稚園から高等部までたくさんの児童・生徒が動画作成に参加しこれまで交流してきたみなさまに思いを伝えられました。復興が進んでいく中、私たち自身も震災のことを忘れつつありますがこの活動を通してまた震災を思い出し次の世代へ震災の恐ろしさを伝え自分たちの中でも震災を風化させず未来に残しバトンを繋げていけるような活動をこれからもおこなってまいります。

足尾銅山についての取り組み

人体に有害な鉱山廃水の処理技術について研究する鉱山廃水クリーンプロジェクトや足尾銅山の煙害で荒廃した山々に木を植える植樹活動に取り組んできました。自然の大切さや、自然破壊の恐ろしさを改めて見つめ直すきっかけにもなる植樹を通して今後も私たちが過ごす栃木県で起こった公害について理解を深めるとともに地域の環境保護に貢献していきたくと思います。

【私たちが森林を守るためにできること】

- ・コピー用紙や紙コップの使用を極限まで減らし、紙は再生利用する。
- ・再生紙の製品を選んで購入する、または過剰な包装や、紙袋を断る。
- ・環境やSDGsに配慮した企業の製品を選ぶ。
- ・森林保全団体やNGO/NPOに寄付をする。



愛媛県のみかん農家さんとの交流

2018年に発生した西日本豪雨災害の後、少しでも被災地の方々になりたいという思いから、募金・物資を届けたことなどをきっかけに、現在も愛媛県宇和島市古田町玉津のみかん農家の方々と交流が続いています。風化させたくないという思いや、現地の方々の笑顔を増やしたいという思いから、私たちは相手の方々に寄り添った形の活動をこれからも心がけてまいります。



ウクライナ募金

「一人一人の思いやりが世界を救う」

毎日のように様々なメディアを通じて我々の耳に入ってくる

「ウクライナ問題」。この出来事の悲惨さを皆さんもご存知でしょう。しかし私達はこの問題について更に深く知り向き合っていくことも重要です。中には「具体的にこの問題についてどう向き合っていけばいいの?」と疑問に思う人もいらっしゃるかもしれません。

私達は「ウクライナ募金」という活動を行なっています。現在、ウクライナ危機で大きく問題となっているのが「難民問題」。すでに子どもや民間人を含む1300万人以上が国内で避難できずに現にとどまっています。そして710万人以上が国内で避難生活を送っており、690万人以上が、安全を求めポーランドやハンガリー、モルドバやルーマニアなどの周辺諸国に避難しているという現状があります。ウクライナから約9000キロ離れた地に暮らす私達が戦場化の下で暮らす人々を衛生面や教育面などの多方面にわたり間接的に支えることのできるのが「ウクライナ募金」ということです。ご協力して下さる方々の思いやりが多くの人々の支えになり多くの人々の希望となるのです。



作新学院 地球環境クラブ プロフィール

活動人数 439名

活動年数 12年

学院全体として取り組んでいる活動です。学部、部活動の垣根を越えて集まった活動部員を中心に「オール作新」で取り組んでいます。

